

〔曲名〕 Serenata

セレナータ

〔曲種〕

〔作曲者〕 C.Gounod

シャルル グノー

〔編曲〕 C.Munier

カルロ ムニエル

グノーは1818年6月17日パリに生まれ、1893年10月18日同地に逝いたフランスの作曲家であるから、イタリア・マンドリン百曲選に組入れるのは正しくないが編曲者がムニエルであり二重奏曲として面白く出来ているので敢えて組入れた。

本曲も前曲ペルゴレージのシチリアーナ同様24曲集の中に収められた12曲目のものである。

本曲も本邦では大正年代「夜の調べ」としてよく歌われたもので

「あわれ床しき歌の調べ、夕はるかに胸に聴けば、心は帰る楽し昔、  
あゝ、唱え、君よ永遠に唱え、いざ懐かし君唱え、唱え、あゝ永遠に。」

の訳詩でセノオから出版せられた。

曲調は古いフランスの牧歌調でムニエルはヴァイオリンの助奏の部分もマンドリンで奏くように組入れ至るところに右手のピッツィカートを使用している。

Pennaは通常のピック弾奏を示す。

ムニエルはマンドリンの父とも云われる程にその作品はマンドリンに終始しているので機会を見て作品表を紹介したい。

1970年6月10日発行

イタリアマンドリン百曲選第6集より